

標題 有機水稻の除草・抑草機械現地研修会を開催！その有効性を実感！

(ダイジェスト)

6月22日、松江市浜佐田町にある有機水稻実証ほで除草・抑草機械の現地研修会を開催し、生産者や関係機関から29名の参加がありました。

当日は2つの機械の説明と実演があり、その有効性を確認出来ました。

県内で有機水稻栽培に関心が高まる中、雑草対策が一番の課題になっています。

研修会はみのる産業株式会社の乗用型除草機と井関農機株式会社のアイガモロボットの2種類の機械で行いました。爪付きロータの回転とツースの揺動により条間と株間の両方を「除草」する除草機と、スクリュウの回転により土を巻き上げて水を濁らせ「抑草」するアイガモロボットのそれぞれの技術と実証概要について各社担当者から詳細な説明がありました。参加者からは機械を動かすための適切な水管理の方法やイネへの影響などについて多くの質問があり、関心の高さがうかがえました。

その後の実演会では、機械が動く様子やイネへの影響などをしっかりと確認していました。

実際に機械を使用した実証ほ担当農家からは「除草機は初めてでも操作が難しくなく、自分でもできると思った。」「アイガモロボットは水深を保つことの難しさはあるが、それをクリアできれば有効な技術。」といった感想を述べておられ、機械除草・抑草の有効性を実感していました。

松江管内ではエコファーマーを中心に有機農業に関心を持つ農家が増えてきています。農業振興部としては実証ほでの研修会や技術指導を通じて有機農業の普及に努めていくことにしています。



現地研修会の様子



実演機械（左：乗用除草機、右：アイガモロボット）